

特定非営利活動法人エティック
「子どもの未来のための協働促進助成事業」
助成事業概要

事業名	「おかやま子ども基金(仮)」創設を核とした子どもの虐待・貧困等〇を目指すオール岡山体制構築事業
実行団体	特定非営利活動法人岡山NPOセンター
対象とする子ども・若者（もしくはその家族等）の状況や抱える課題・ニーズ	①様々な事情を抱える子ども及び保護者（家庭）の根本課題は孤立化していることと、そのために支援が必要なタイミングやニーズが見えないために効果的な支援ができないことである。また、そのために世代を超えて課題が連鎖する状況の改善と、それを防ぐために予防的観点からも社会全体が支える空気感の醸成を目指す。 また②支援側もそもそも官民での情報や連携の壁があり、それを改善する仕組みの不足が根本にある。個々の支援が効果的に機能し、支援先家庭を主語に連携する状況をつくと共に、その一翼を担う民間の支援組織が資金不足により職員の負荷が高く継続が困難な状況の改善も目指す。
事業概要	予防からセーフティネットまでオール岡山で対応できる体制を構築する。 【1. アライアンスと情報連携の仕組み構築】 家庭を主語に様々な機関が連携して支援するために総合的なアセスメント開発とそれを基に支援の判断や情報共有を行うための仕組み構築を軸に、様々な支援組織による包括連携的な支援アライアンス(連合)を構築する。 【2. おかやま子ども基金(仮)創設とそのサポーター養成】 子どもを支えるための税とは違う資金の流れを生み出すために「おかやま子ども基金(仮)」を創設し、それを支える市民サポーター等による仕組み構築をコミュニティオーガナイズ、ファンドレイジングなどの知見を集約して行い、継続可能な仕組みにする。 【3. 官民協働の支援体制づくり、政策提言】 これらの動きを市の支援と連動させるために政策提言など各種調整を行う。
事業実施地域	岡山県岡山市
助成総額	40,000,000円
評価関連経費	2,000,000円
事業実施期間	2020年 7月 ~ 2023年 3月

■選定の理由

- 中核都市の実績ある団体として、これまでの成果をよりスケールできる可能性がある。
- 支援を必要な当事者と支援者・サービスとのマッチング、さらにはデータベースの開発・運用は先進的な取り組み。実現できたら他地域への展開も期待できる。
- システム開発は個人情報の取扱など障壁も考えられるので、予算配分については留意が必要。